

南足柄市とその周辺地域における生活型MaaS実証実験

神奈川県南足柄市とその周辺地域住民および観光客の利便性・回遊性の向上のための生活・観光一体型MaaS（統合型MaaS）の導入を目的に、WILLER MaaSアプリを活用したデマンド乗合タクシーの実証運行を行い、今後の地域実装に向けた課題の整理を行った。

協議会の 構成員	【幹事】伊豆箱根鉄道株式会社、南足柄市、WILLER株式会社		取組イメージ	
地域課題	● 利用者の減少により公共交通の維持が困難になっていること ● 人気な観光施設及びその他周辺の観光施設への観光客の減少 ● 各交通機関の時刻表が一括して検索できないこと ● 新型コロナウイルスへの対応として出発地と目的地を直接結ぶ交通機関の未整備		デマンド乗合タクシーの運行  スマートフォンカメラを利用した情報配信 ロゴマーク  観光情報サイト  専用ウェブサイトから、スマートフォンカメラでデマンドタクシーのロゴマークを撮影すると、南足柄市の観光情報サイトに遷移 「画像-ICT連携サービス」 高精度の画像認識技術により、マーカー不要で被写体そのものをICTソリューションと連携させる事ができるサービスです。 	
取組の概要	期間	2021年3月10日～3月28日	検証結果	
	エリア	神奈川県南足柄市とその周辺地域		
	MaaSシステム	WILLERが提供するMaaSアプリ「mobi Community Mobility」を利用		
	交通サービス	● デマンド乗合タクシーの運行	● モニター利用者は50代が最も多かったなかで、最大の課題はアプリ予約のスマートフォン操作であった。スマートフォンOSの古さによるアプリ動作の不安定さやログインができない等の声があったが、何度も操作を繰り返した参加者からは、思ったよりも使いやすいと好評であった ● デマンド乗合タクシーは、時刻表に捉われない利便性が高評価で、免許返納後にこのような交通機関があると便利の声が多かった ● スマートフォンカメラを利用した情報配信については、スマートフォンカメラ機能のみで利用できる点や利用の容易さから、延べ263回、93名の利用を獲得し、利用者の評価も高かった	
	交通以外のサービス	● 利用者を対象としたICT勉強会 ● スマートフォンカメラを利用した（画像-ICT連携）地域・観光情報の配信		
検証内容	● 住民のICTリテラシーの向上 ● デマンド乗合タクシーアプリの有効性および改善点 ● 画像-ICT連携による地域・観光情報配信の有効性および改善点 ● 住民の外出意欲の向上		今後の方向性	
			● コロナ禍を踏まえると、今年度新たな実証実験の実施は困難であるが、協議会メンバーとMaaS推進の検討を進めていく ● 実証実験で得られた課題を利用者のICTリテラシー向上とデマンド乗合タクシーの利便性向上に整理し、検討を進める。ファーストステップとして、利用者を住民向けに絞り、通信キャリアと連携した勉強会の開催や乗降場所の増設等の取組に向けて、官民連携を進める ● スマートフォンカメラを利用した情報配信については、有効性が確認されたため、画像認証技術を活用した住民サービスや観光施策の強化を進める	